



# 和解という課題について — イギリスでの経験から

イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

マタイによる福音書 22 章 37 節 - 39 節

※写真右：第二次世界大戦中、日本軍の捕虜となったイギリス人元兵士、他の元捕虜の遺族と共に、三重県にある16人のイギリス人捕虜犠牲者のための慰霊碑での追悼式後に撮影。

日時

2024年6月11日(火)

16時45分～18時15分 (開場 16時15分)

場所

金城学院大学アニー・ランドルフ記念講堂

講師

ウィリアムズ郁子

ICU 和解フォーラム・プロジェクト代表 / 英国国教会司祭

聖路加国際病院非常勤チャプレン / ICU 大学評議員

## ウィリアムズ 郁子 (ういりあむず いくこ)

東京生まれ。国際基督教大学 (ICU) 卒業。

ウェスタンミシガン大学大学院コミュニケーション学修士過程修了。リーズ大学大学院神学部修士過程修了。

結婚後、夫の仕事のため、30年間英国のリーズで暮らす。3人の子育ての傍ら、近隣教会での奉仕、リーズ大学大学院翻訳学講師などを経て、英国人元戦争捕虜と「和解」を日本人として経験したことが大きな転機となり、牧師の道へと導かれる。2008年に英国国教会司祭として按手を受け、リーズ大学病院チャプレンを務める。2019年に夫のICU副学長招聘に伴って帰国。以来ICUキャンパスに住み、大学教会説教奉仕、ICU和解フォーラム代表など、ボランティアでキャンパスのミニストリーに携わる。及び、聖路加国際病院にて非常勤チャプレン。

強く、優しく。



金城学院大学